

第91回アメリカ酪農科学会参加並びに ネブラスカ大学視察

口 田 圭 吾

畜産管理学科家畜育種増殖学助手

1. 目 的

第91回アメリカ酪農科学会参加並びにネブラスカ大学視察のため

2. 期 間

1996年7月8日～7月22日

3. 場 所

アメリカ合衆国 オレゴン州コーバリス市
ネブラスカ州リンカーン市

4. 内 容

1) 第91回アメリカ酪農科学会への参加

第91回アメリカ酪農科学会が1996年7月14日～17日の間、米国オレゴン州コーバリス市のオレゴン州立大学で開催された。Dairy food(153演題)、Production(353演題)の2つに大別される口頭ならびにポスター発表が行われた。14日のオープニングセッションでは、大会委員長の挨拶などの後に、ミュージシャンによるミニコンサートが開かれ、米国の学会と日本のそれとの大きな違いを肌で感じた。



オレゴン州立大学メモリアルユニオン

15日および16日に口頭発表が行われ、私は特に Dairy cattle improvement セクションで講演を聴いていたが、その中でも USDA の Powell らによる Effect of changes in international genetic evaluation procedures for yield traits や Austria Vienna 大学の Furst-Waltl らによる Curvilinearity in the genetic relationship between type traits and milk yield in cattle などの演題に興味を惹かれた。このセッションは、小さい教室で行われたこともあったが、かなり多くの人が集まり、また討議も活発であった。

16日の午後に、同行した鈴木三義助教授とともに Production division の Dairy cattle improvement セクションにおいて Multiple traits REML estimates of genetic parameters for Japanese Holstein for milk component yields and their log-transformations using repeatability model というテーマについてポスター発表を行った。

2) ネブラスカ州立大学視察

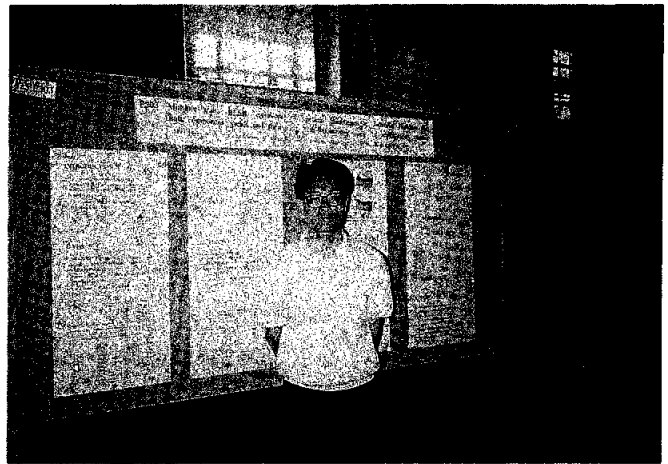
7月18日～23日の間、米国ネブラスカ州リンカーン市のネブラスカ州立大学を視察した。

同大学はネブラスカ州リンカーン市、カーネイ市およびオマハ市にキャンパスを有しており、農学部はリンカーン市に位置する。

同大学大学院生の鶴田彰吾氏に大学の施設を紹介していただいた。家畜育種学研究室には多くの大学院生がおり、活発に研究が行われている様子がうかがえた。大学内のいたるところでコンピュータールームが開放されており、それらを自由に使うことができる環境が整っていた。コンピュータ、体育館、駐車場などは学生あるいは職員であれば自由に使うことができるのだそうだが、それらを使用するにあたり、すべての関係者が大学に対して公平に負担金を支払わなければならないということには驚かされた。家畜育種学研究室の Dale Van Bleck 教授からは乳牛の遺伝的評価に関する貴重な話をいただいた。

7月20日はリンカーン市郊外にあるアメリカ農務省のクレーセンターを訪問し、Gregory 博士に場内の案内ならびに氏のこれまで携わってきた研究の紹介をしていただいた。同センターは数千頭の肉牛を飼育しており、交雑実験を中心とした研究を実施している。また、独自に大規模な枝肉処理施設を有しており、肥育から屠殺までの一連の試験を同一センター内で実施することができる。Gregory 博士はヘテロシス効果に関する研究を長年続けていらした方で、数多くの交雑実験に携わってきたとお話をいただいただけでなく、博士の研究の集大成である Composite breeds to use heterosis and breed differences to improve efficiency of beef production などの貴重な資料をいただくことができた。また、同センターでは MARC プロジェクトを実施しており、そのプロジェクトの成果により作出された交雑種 MARC I (1/4 Braunvieh, 1/4 Charolais, 1/4 Limousin, 1/8 Hereford, 1/8 Angus), MARC II (1/4 Gelbvieh, 1/4 Simmental, 1/4 Angus, 1/4 Hereford) などについても大変興味を惹かれるところであった。

今回の米国渡航に際し、多大なご支援を賜りました(財)帯広畜産大学後援会に深甚の謝意を表します。



ポスター発表会場にて